

研修ニュースレター

第7号

特集 平成21年度教育センター希望研修

教育の専門家としての力量を高めるために御活用ください！

「教師は授業で勝負する」と言われるように、教育の直接の担い手である教職員が、教育の専門家としていかに『授業力』を高めていくかは、いつの時代においても重要な課題です。

教育センターでは平成21年度も、学習指導・授業づくりの力、教材解釈の力など、教育の専門家としての確かな力量を形成するために、特色ある希望研修講座を開設していますので、どうぞふるって御参加ください。

－教科別スキルアップ研修－



各教科に関する基本的な指導方法について、教材分析や教材研究、模擬授業などを通して、教科指導に関する識見や指導力を高めます。

受講者からは、「授業のヒントや実践してみたいと思うことがたくさんあり、とても有意義でした。」「今さらながら、発問計画や机間指導、日々の中での教材研究など、自分の中で改善してみようという気持ちになりました。」など、授業改善に有効との声が多数寄せられています。

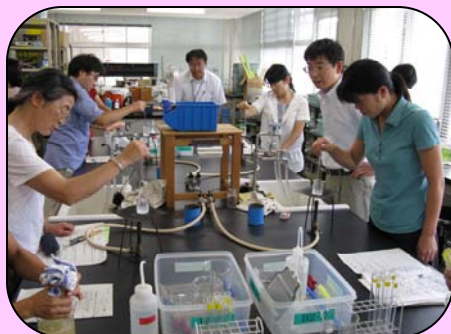
－小学校外国語活動推進研修－



小学校外国語活動の円滑な実施に向け、今回より2コースに分けて研修を実施いたします。Aコースは、主に5、6年生担任の外国語活動実施者を、Bコースは、それ以外の1～4年生担任を対象として、開設します。

研修では、ALTとのチーム・ティーチングやワークショップなどの演習を通して、外国語活動における実際の授業の進め方について理解を深めるとともに、指導力の向上を図ります。

－小学校理科観察実験研修－



小学校理科における観察、実験の指導に必要な初歩的な技能を身に付け、理科指導力の向上を図ります。宇都宮大学教育学部人見准教授を講師に迎え、大学の理科棟実験室を会場にお借りして研修を実施します。

観察・実験の指導のポイントや安全指導、器具の基本的な扱い方などを身に付けたいと考えている先生方(特に理科を専門としていない先生方)、是非、この機会に本研修を御活用下さい！

※研修ニュースレターに掲載の各希望研修の詳細な内容については、年度始めに各校に配布される「宇都宮市教職員研修要項」及び教育情報システムの掲示板を御覧ください。希望研修については、4月17日(金)が受講者募集締切日となっています。どうぞ積極的に御参加ください！

他にもあります！

多様なニーズに応える希望研修を御活用ください！

『発達障がい理解研修』

岡山大学教育学部 教授 佐藤 暁先生 来る！

特別支援教育を語ったら、日本で三本の指に入ると言われている『佐藤先生』をお呼びすることができました。ぜひこの機会に、御参加ください！研修では、まず、発達障がいなどの傾向により、通常の学級の中で困り感を抱えている児童生徒について理解を深めます。さらに、視覚的に分かる指導の工夫例などを通して、どのように特別支援教育を進めていけばよいのかを具体的に学ぶことができます。

『地域文化財活用研修』

宇都宮の有名文化財・史跡を一挙視察！ 実際に、^{まがたま}勾玉・土器作りを体験！

研修1日目は宇都宮の有名文化財や史跡を見学したり、解説を聞いたりします。2日目は文化財施設を見学し、その後古代人になりきって、実際に勾玉や土器を作ります。研修に参加して、学校の授業や特別活動で、子ども達に宇都宮の文化財や史跡の話をしたり、子ども達と勾玉や土器を作ったりする活動をしてみませんか？

『パソコン活用基礎研修—校務活用編—』

クラス名簿の作成など、具体的な校務事例にそって、Word や Excel を習得できます！

日常的な校務を効率よく行うためのパソコン利用法を、懇談会資料やクラス名簿の作成など、具体的な校務事例にそって習得する研修です。文書作成ソフト(Word)や表計算ソフト(Excel)を使用して、校務上の書類や文書を簡単に作成する方法を紹介します。パソコンを校務に活用したいと考えている、初心者の先生方にお薦めです！

「もう少し授業がうまくなりたい」
「自分の授業の課題を克服したい」
「初任者・5・10年目研修を受講して
さらに実力に磨きをかけたい」
と考えている先生方はいませんか？

授業力に磨きをかける

「授業実践力養成サポート事業」を
御活用ください！！

- ・実際の授業に基づいた支援を行います！
- ・受講者のニーズにきめ細やかに対応します！
- ・同一の担当者が、マンツーマンで関わり、授業者に寄り添った指導助言を行います！

授業実践力養成サポート事業受講者の声

受講者の実態に合わせて、きめ細やかな助言を受けられることが最大のメリットだと感じました。

貴重な研修の機会をいただき、自分自身の課題が明確になり、目標を持って日々の勤務に取り組んでいくことができそうです。

単元についての深い洞察や授業技術についての適切な指導をいただくことができたことが大きな喜びです。

前回の課題を基に、次回の研修が行われ、めあてを明確にして臨めるところがとてもよかったと思いました。

※平成21年度『授業実践力養成サポート事業』の詳細については、年度始め(4月中旬)に各校あて配布される募集要項を参照願います。